

第6回 隠岐の島町庁舎整備計画説明会 布施会場 質疑録

日 時： 平成28年5月30日

場 所： 布施支所

住民参加者数： 16名

(住民A) 津波についてはどれくらいの規模を想定しているか？

→ (役場) 島根県の想定では港町では2m程度の津波が想定されていますが、現庁舎位置では津波の影響は無い想定ですので、内陸になれば問題ないと考えています。

(住民A) 現在、役場に行こうとすると、バスで病院まで行って乗り換えしなくてはならない。新庁舎位置はバス路線の中で乗り換え無しで行けるような場所にして欲しい。

→ (役場) 検討委員会の中で皆さんと一緒に検討していきたい。

(住民B) 現在の場所に建設した場合、建設しながら業務ができるのか？

→ (役場) 現在地になったら、その問題も考慮して計画したい。

(住民B) 新築に賛成だが、分庁舎化している課を新庁舎に集約して欲しい。

→ (役場) 新庁舎に集約するだけでなく、窓口を1階に集約するなどの方法も検討したい。

(住民C) 新庁舎建設に賛成です。教育委員会も新庁舎に集約して欲しい。また、新庁舎建設の計画においては、人口減少についてはどのように考えているか？

→ (町長) 地方創生の隠岐の島町の計画では人口が1万人を切らないよう、生産年齢人口を隠岐で確保すべく、新卒者採用の企業への補助金、子育て支援などの施策を展開している。

新築建替となれば、このようなことにも着目しながら検討していきたい。

(住民D) 建設費20億円と説明されたが、含まれていない造成費、用地費などは試算しているのか？

→ (役場) 敷地は14000㎡程度必要と考えている。用地単価が仮に1万円/㎡としたら1.4億円程度、造成費も同程度の必要と考えているが、場所によって大きな変動があるので、経済性も考えながら検討していきたい。

(住民E) 新庁舎建設には異論は無いが、現在の町民ホールでは、仕事している前で休むのは気が引ける。役場に出てきたときに待ち合わせの場所となるようなスペースがあればよいと思う。

→ (役場) 検討委員会の中で検討していきたい。

(住民B) 新庁舎位置を決める場合の客観的な条件にはどのようなものを考えている

か？

→（役場）利便性、自然災害の影響が無い場所などいろいろな条件を考慮し、全体的なバランスをとって決めることとなる。

（住民 A）熊本の地震のように庁舎が機能しないと職員も助けに行きたくても行けない状況だったと思う。役場は拠点となる施設であるべきだ。頑丈なものを造らなくてはならない。20億円だと言わずに必要ならもっとお金を掛けてでも造るべきだ。

（住民 F）合併特例債を借りるとなれば時間が無いと思う。新築になる場合の今後の計画はどうなっているか？

→（役場）平成 28・29 年度設計まで終わらなくてはならないので、遅くとも今年中には場所を決めなくてはならない。また、建築工事だけでも 1 年半はかかると思われ、厳しいスケジュールです。

（住民 C）耐震補強か新築か決定して、その後の地域住民の声は、どのような形で聞いていくか？

→（役場）場所についてはいろいろな意見があるが、検討委員会では旧 4ヶ町村の町民の方にも入っていただき検討して欲しい。また、検討委員会での検討結果は、住民のみな様に周知します。

（町長）今日の布施会場では新築はやむを得ない、問題は場所だという意見が多かったように思われる。

場所については検討をさせていただき、年末までに方向を出したい。